

指定管理者選定委員会が町長へ報告書を提出

周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等指定管理者選定委員会（河村誠治委員長・山口大学経済学部教授）は、11月5日、周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等（周防大島町長浦スポーツ海浜スクエア・周防大島町グリーンステイながうら）の指定管理者の選定に係る報告書を椎木町長に提出しました。

町では12月議会において、優先交渉権者の指定の議決を受け、施設の指定管理者に指定することとしています。

■問い合わせ 商工観光課 公共施設管理班

☎0820(79)1003



▲河村誠治委員長から報告書を受け取る椎木町長

こんにちは。地域おこし協力隊（観光協会）の新井です。
着任した初年度より開催しているけん玉キャンプイベント「FAT CAMP」を8月13日より行いました。今年は台風10号の影響で当初予定した2泊3日の日程を縮小し1泊2日となりましたが、県内外からリピーターを含め約40名の方が陸奥野営場に集まり、周防大島の自然を満喫していただきました。

今年参加者をランダムにチーム分けをし、協力しながら様々なミッションに取り組んでもらいました。「けん玉は一人で遊ぶもの」というイメージをお持ちの方が多いと思いますが、一緒にけん玉を楽しめる仲間がいるというのは、技術向上、モチベーション向上という観点でもとても重要で、さらに技を達成した時に仲間と共にその瞬間を共有できるというのは自己肯定感を養うという点でも多くの利点があるのです。



▲8月のFAT CAMP（ファットキャンプ）に参加した皆さん

○地域おこし協力隊とは

都市地域の若者らが地方自治体の募集に応じて委嘱を受け、一定期間、地域に居住して地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。隊員の活動に要する経費などは特別交付税措置されています。



でもお話しさせていただき、国内唯一のけん玉キャンプイベントが注目されていることを実感しました。本イベントでは「けん玉で健康づくり」という講演もあり、認知症予防や適度な運動に最適なけん玉を是非町民の皆さまと一緒に楽しめたら嬉しいです。

地域おこし協力隊員 新井謙太郎の
しましまタイムズ
SHIMASHIMA TIMES
14
周防大島観光協会
☎0820(72)2134